

平成30年度 飯田北いちょう小学校 体育・健康プラン

【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】

学校・家庭・地域が一緒になって、「早寝、早起き、朝ご飯、」を推進し、一校一実践運動を通して、健康の維持・促進、体力向上を図ります。

＜児童生徒の体育・健康面の姿＞

- ・低学年は外遊びを好む児童が多く、休み時間や放課後に外で遊んでいるが、高学年になるほど少ない。
- ・就寝時間が遅い、朝食を摂らない、持ち物の準備ができない等、基本的な生活習慣が身につけていない児童が多い。
- ・齲歯の児童が多く、毎食後の歯磨き活動の定着が求められている。
- ・28年度の新体力テスト・生活実態調査の結果、本校の児童生徒は、市平均に比べて全体的に市平均より値がやや低い傾向をもっている。



＜体育・健康に関する指導の目標・方針＞

○児童自らが自分の健康、体力向上に関心をもち、めあてをもって生活したり、学習に取り組んだりする。

- ・規則正しい生活、望ましい生活習慣の育成のため、学校と家庭とで連携し、継続的に取組や成果を検証しながらよりよい実践の在り方を探り、実践に生かしていく。
- ・各教科、単元において、めあて学習の取組を深めていくとともに、様々な教育活動の中で運動する喜びや健康の大切さが実感できるような活動を児童とともにつくっていく。

教科

《体育科での取組》

- ・多様な運動や遊びにふれ、体を動かす楽しさや互いに協力し合う楽しさを感じられるようにする。
- ・友だちとともに運動を楽しむ中で、積極的に助言や褒めることを促し、お互いのよさに気づくようにする。
- ・保健学習において、心と体の健康を保つことの大切さを実感的に理解できるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科において、食の大切さを自分ごととして考え、実践できるようにする。
- ・社会科、理科、生活科等において、生命や健康保持の大切さを実感的に理解できるようにする。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育学習で培った技能をさらに高めるだけでなく、集団で取り組むことで共に運動することの楽しさや価値が感じられるよう、めあてや内容を工夫していく。
- ・栄養士と連携を図り、各学級で給食指導を行い、自分たちのよりよい食について考えられるよう取り組む。
- ・児童保健委員会により、年間を通して、自分たちの健康についての意識を高め、実践に生かしていける取組を行う。
- ・道徳の時間では、生活と健康との関係を考え、生活の仕方を改善する意欲をもつ。

平成30年度 飯田北いちょう小学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 「げんきっこ大作戦～歯イパーAAA(歯みがき、あさごはん、あさうんち、あそび)で生活のリズムを作ろう～」
- 《ねらい》 朝食や朝の排便に歯みがきの大切さを加えた基本的な生活習慣に対する理解、健康の維持・促進を目指すとともに、自分や学級の外遊びに積極的に参加することを通して、体力の向上や協調性の育成、ひいては達成感を得られるようにする。
- 《内容》
- ・げんきっこ会議を通して基本的な生活習慣の理解、定着を促し、健康管理と生活習慣の大切さを意識させる。
 - ・年間を通して学級や個人で外遊びに積極的に取り組むためのめあてを立て、運動に親しむ。
 - ・運動委員会が主催した運動集会を開き、全校児童で外遊びに取り組む。
- 指標
- ・個人でのカードを活用し、ふり返ったときの「満足度」
 - ・次年度の生活実態調査での「運動やスポーツの実施状況」